

ISSN 2759-6923

大磯町郷土資料館年報 第 38 号

年 報

—令和 7 年度—

2026

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

は　じ　め　に

令和7年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

令和7年度は、令和5年度、令和6年度に引き続き、新たに大磯町の魅力を発信するため、町内にアトリエを構えた画家の山本丘人を取り上げ、企画展を実施しました。本事業は三年度にわたる企画として始め、当年度の開催をもって完了しました。美術館ではない博物館で美術分野の展示を実施することは挑戦であり、実施することでわかった課題もありましたが、町ゆかりの画家に対する関心は高く、熱心な来館者が存在することもわかりました。この経験を、今後の当館の事業に活かしていきたいと考えます。

平成29年度から公開している旧吉田茂邸も、令和9年度で公開10年を迎えます。公開10年の記念企画も検討しています。引き続き、郷土資料館・旧吉田茂邸の活動に御理解・御協力をお願いいたします。

なお、今号から巻末に収録していた研究報告を紀要として独立することにしました。紀要の発行は、年度末を予定しています。御期待いただければ幸いです。

大磯町郷土資料館

目 次

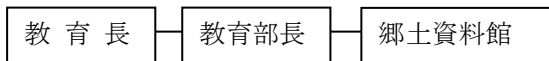
〔事業報告〕

大磯町郷土資料館運営	4
・ 組織および職員/協議会/予算	4
・ 観覧者数	5
大磯町郷土資料館施設管理	6
・ 維持管理/施設使用	6
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理	7
・ 維持管理/施設使用	7
大磯町郷土資料館学芸活動	7
・ 常設展示	7
・ 企画展	8
・ ワークショップ	12
・ 博物館実習	14
・ 研究活動	15
・ 博物館資料の整備/刊行物/視察・見学対応	17
・ 取材対応	18
・ レファレンス対応	19
・ ホームページを活用した情報発信	20
・ 博物館資料の収集・整備・利用	20
・ 文献資料収集状況	23
旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動	25
・ ミニ企画展	25
・ 講演会	26
・ 調度品等の整備	26
・ 博物館資料の整備/刊行物	26
・ 視察・見学対応	27
・ 取材対応/レファレンス対応	27
学芸員の調査・研究・普及活動	27

事業報告

大磯町郷土資料館運営

■ 組織および職員



府川 陽一 加藤 敦 旧吉田茂邸利活用担当課長
館長 北水 慶一

学芸担当係長／学芸員 富田 三紗子
主 事／学芸員 鷹野 真子
主 事／学芸員 真保 元
主 事／学芸員 長谷川 明香

会計年度任用職員／学芸員 村田 聡美
会計年度任用職員／司 書 今井 沙穂里
会計年度任用職員 高山 優美、加藤 さおり (R7.6.1-)

■ 協議会

<委員の構成>

- ・ 委 員 長／近藤 英夫 (学識経験者)
- ・ 副委員長／西川 武臣 (学識経験者)
- ・ 委 員／柴田 紳一 (学識経験者)、古川 元也 (学識経験者)、辻丸 聖順 (学校教育関係者)、中島 美江 (社会教育関係者、-R7.9.30)、大倉 祥子 (観光関係者)、曾根田 玲子 (観光関係者、-R7.9.30)、荻原 まさみ (社会教育関係者、R7.10.1-)、福田 道隆 (社会教育関係者、R7.10.1-)、天野 美佐子 (家庭教育関係者、R7.10.1-)

<協議会の開催>

- ・ 第1回／令和7年8月6日
 - 議題1 令和6年度事業報告について
 - 議題2 令和7年度事業について
 - 議題3 旧吉田茂邸モデル実証事業について
 - 議題4 旧吉田茂邸運営支援事業について
- ・ 第2回／令和7年12月24日
 - 議題1 令和7年度事業について
 - 議題2 運営基本方針の見直しについて
 - 議題3 大磯町郷土資料館条例施行規則の見直しについて
 - 議題4 寄贈及び寄託取り扱い要綱の見直しについて
- ・ 第3回／令和8年3月27日
 - 議題1 令和7年度事業の報告について
 - 議題2 令和8年度事業について

■ 予算

<当初予算の推移>

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
金額	88,987 千円	133,457 千円	119,677 千円	72,460 千円	86,989 千円	88,670 千円

<令和7年度歳入決算額（一部のみ）>

- ・ 旧吉田茂邸観覧料 11,726,240 円
- ・ 旧吉田茂邸刊行物売上代 148,400 円
- ・ 郷土資料館観覧料 260,700 円
- ・ 吉田茂関連製品売上代 302,200 円
- ・ 郷土資料館刊行物売上代 418,580 円
- ・ 「わたしたちの大磯の歴史」売上代 36,000 円

＜吉田茂関連製品販売実績＞ 単位：個

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
バッグ (高マクラ)	2	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	3	10
バッグ (子沢山)	0	2	1	0	2	1	2	3	0	0	0	2	13
バッグ (旧吉田茂邸)	0	2	1	1	0	1	2	2	2	2	0	1	14
ファイル	9 (3)	19 (1)	16 (9)	11 (4)	5 (2)	1 (0)	10 (1)	22 (8)	11 (0)	11 (2)	8 (4)	17 (6)	140 (40)
チャーム	3	13	7	2	8	3	1	5	7	2	2	5	58
根付け	1	10	1	2	10	5	7	7	3	1	3	2	52
手拭い	8	13	6	14	5	7	7	6	1	9	6	6	88

※ファイルのうち、括弧書きの数字は郷土資料館販売分。

＜令和7年度歳出決算額＞

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	郷土資料館 学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	
金額	1,584,344 円	15,512,587 円	3,620,045 円	835,980 円	
事業	旧吉田茂邸 運営事務事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	旧吉田茂邸 学芸活動事業	大磯ゆかりの画家による アトリエ文化発信事業	計
金額	9,729,163 円	9,223,190 円	1,298,219 円	2,932,358 円	44,735,886 円

□職員給与（5人分） 43,934,174 円 ■歳出合計 88,670,060 円

■ 観覧者数

＜郷土資料館観覧者数の推移＞ 単位：人、日

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	累計（昭和63年～）
入館者数	24,091	24,719	22,774	22,093	23,848	1,110,747
1日平均／開館日数	94／257	83／297	78／293	74／298	81／294	106／10,484

※令和3年度は令和3年7月3日を大雨のため、7月6日から11日までは館内燻蒸のため、8月24

日から9月30日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

※令和5年度は令和5年7月4日から9日までは館内燻蒸のため、臨時休館

※令和6年度は令和6年8月30日を台風10号に伴う大雨のため、臨時休館

※令和7年度は令和7年7月15日から21日までは館内燻蒸のため、臨時休館

＜郷土資料館の月別観覧者数＞ 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	2,073	2,519	1,383	1,506	2,031	1,603	
1日平均	83	97	55	75	78	67	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	1,932	2,906	1,969	1,704	1,889	2,333	23,848
1日平均	74	112	86	74	79	90	81

＜旧吉田茂邸観覧者数の推移＞ 単位：人、日

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	累計（平成29年～）
入館者数	16,175	23,481	22,051	23,720	25,650	328,027
1日平均／開館日数	62／263	79／297	74／299	80／298	86／300	132／2,490

※令和3年度は令和3年7月3日を大雨のため、8月24日から9月30日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

※令和6年度は令和6年8月30日を台風10号に伴う大雨のため、臨時休館

＜旧吉田茂邸（郷土資料館別館）の月別観覧者数＞ 単位：人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
観覧者数	大人(個人)	1,432	2,190	1,121	922	1,417	1,486	
	大人(団体)	147	646	247	69	16	197	
	中学生・高校生(個人)	23	46	12	21	67	27	
	中学生・高校生(団体)	0	0	1	0	0	0	
	小学生以下	104	118	18	40	89	51	
	障がい者／介護者	54	99	69	41	61	71	
	減免対象者	19	138	33	27	2	14	
計		1,779	3,237	1,501	1,120	1,652	1,846	
1 日 平 均		71	125	60	43	64	77	
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
観覧者数	大人(個人)	1,940	2,597	1,311	1,404	1,667	1,902	19,389
	大人(団体)	462	737	226	230	355	505	3,837
	中学生・高校生(個人)	25	25	14	16	23	44	343
	中学生・高校生(団体)	0	0	0	0	0	4	5
	小学生以下	25	50	16	34	48	45	638
	障がい者／介護者	94	182	70	72	100	84	997
	減免対象者	79	61	24	18	9	17	441
計		2,625	3,652	1,661	1,774	2,202	2,601	25,650
1 日 平 均		101	140	72	77	92	100	86

大磯町郷土資料館施設管理

■ 維持管理

＜委託業務＞

- ・清掃委託／（株）日装
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー（株）横浜営業所
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会
- ・中央監視装置保守点検委託／日本電技（株）横浜支店
- ・空調機器給水設備保守委託／（株）郵生
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／（株）足柄防災
- ・自動ドア保守委託／（株）神奈川ナブコ 厚木支店
- ・燻蒸委託／関東港業（株）

＜修繕＞

- ・女子トイレ手洗器排水詰まり修繕／（有）岩田土木管工
- ・屋根及び漏水修繕／（有）深谷産業
- ・自動火災報知設備及び階段通路誘導灯修繕／（株）足柄防災 大磯営業所
- ・高圧ケーブル立上り配管修繕／（有）三木電気工事
- ・地下機械室湧水ポンプ交換／（株）郵生
- ・避難口誘導灯器具交換／（有）湘南消防器具商会

■ 施設使用

＜施設使用月別件数＞ 単位：件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
研修室	3	7	3	3	4	0	1	1	4	2	1	0	29

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／高橋産業（株）
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／（株）日立ビルシステム 横浜支社
- ・空調設備保守点検委託／（株）郵生
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業（株）
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会
- ・木製建具調整・木部全体点検委託／松井建設（株）

<修繕>

- ・透明遮熱フィルム貼付工事／（株）浅岡装飾
- ・昇降機部品交換工事／（株）日立ビルシステム 横浜支社

■ 施設使用

<施設使用月別件数> 単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	4	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	8
食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金の間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

大磯町郷土資料館学芸活動

■ 常設展示

民俗展示「大磯と農業」増設

期 日／年間

趣 旨／令和6年度に続き、常設展示の改修を試み、農業に焦点をあてた「大磯と農業」のブロックを設営した。当館は鍬や唐箕をはじめとする農具を多数収蔵しており、平成9年（1997）には企画展「鍬 KUWA—土の記憶—」を開催している。一方、平成28年（2016）のリニューアル以来、民俗展示は祭礼を紹介する「海に願う祭り・大地に託す祭り」、年中行事や民俗信仰を紹介する「祈りのかたち」の2つをテーマとしてきたため、大磯の農業を紹介することができないことが課題であった。民俗資料の所蔵数も、信仰や祭礼の道具といったハレのものよりも日常生活で使う衣食住や生業の道具の方が多い。そのため、当館のテーマである「湘南の丘陵と海」にちなみ、「大磯と農業」のブロックを設けた。

内 容／休憩室に鍬類をはじめとする農具15点を展示した。解説パネルとして「大磯の土質」「大磯における水田」「何を栽培していたか」を設け、大磯地域で行われていた農業全般について解説した。令和7年度博物館実習生とともに整理した農具を展示し、解説パネルも実習生が作成したものを中心とした。なお、展示スペースが休憩室であることから、企画展の際に使用する際は、一部を適宜、撤去する。

（担 当）真保



■ 企画展

終戦 80 年企画展「資料と証言から見る大磯と戦争」

期 間／令和 7 年 8 月 2 日（土）～10 月 5 日（日）

開場日数／54 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 100 点

料 金／無料

観覧者数／3,988 人

趣 旨／終戦 80 年を迎え、大磯と近代の戦争をテーマに、関係する所蔵資料を展示して、戦時中の大磯の様子や、戦争が大磯という地域や住民へ与えた影響を紹介する。また、郷土資料館では、平成 28 年度から令和 3 年度にかけて、市民協力者と共に戦時中の大磯に関する調査として、空襲体験者への聞き取り調査や、防空壕及び旧日本軍の陣地壕跡の調査を実施してきた。本企画展では、これらの調査成果をまとめて発表する。



内 容／

(1) 近代化と戦争

世界大戦が起こる前史として、徴兵制度の導入や、西南戦争、日清・日露戦争が大磯へ与えた影響について、町内に現存する忠魂碑や町役場の公文書などを展示することによって紹介した。

(2) 生活の中の戦争

明治・大正・昭和初期の社会は、軍隊や戦争が身近な存在であり、軍隊や戦争の存在は社会の前提でもあった。導入期からより制度化された徴兵制度の仕組みや、在郷軍人会・愛国婦人会などの軍隊や戦争にかかわる組織の活動、教育と戦争の関係などを、所蔵資料を展示することによって解説した。

(3) 大戦下の大磯

第一次世界大戦の勃発により、世界の多くの国家が参戦する世界大戦が現実のものとなった。また、空爆や化学兵器の使用は大量殺戮を生み出し、戦争そのものの性質を変えた。そのような状況を経て再び世界の多くの国家が参戦する第二次世界大戦が勃発し、太平洋戦争では大磯も大きな影響を受けた。この戦時中に大磯の住民に起こった出来事を、資料や証言を検証することによってまとめた。主として、大磯から出征した人々について、大磯に被害をもたらした空襲について、大磯に築かれた旧日本軍の陣地壕について、大磯における戦時下の暮らしについての 4 つの項を軸とした。戦時下の暮らしについては、大磯が別荘地であったという特徴から、記録が詳細に残る三井別邸「城山荘」の様子や、吉田茂の様子も含めて解説した。

(4) 主な展示資料

軍服、戦時中の代用品などの戦争関係資料（郷土資料館所蔵）、旧大磯町行政資料（郷土資料館所蔵）、城山荘日記（三井文庫所蔵、複写）など

〔関連行事〕

展示解説

日 時／令和 7 年 8 月 15 日（金）・30 日（土）、9 月 20 日（土）13 時 30 分～

場 所／郷土資料館 企画展示室

参加者数／第 1 回 40 人、第 2 回 26 人、第 3 回 15 人

内 容／担当学芸員が展示内容を紹介した。

（担 当）富田・長谷川

企画展「くらしとムシー生活・信仰・文化財―」

期 間／令和 7 年 11 月 1 日（土）～令和 8 年 1 月 25 日（日）

開場日数／67 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 170 点

料 金／無料

観覧者数／6,351 人



趣 旨／私たちの身近には様々なムシが暮らしている。チョウやカブトムシ、クワガタ、セミなど、昆虫採集などで馴染みのあるムシがいる一方、ゴキブリやスズメバチ、クモ、ムカデなどは生活害虫として、人間によって撃退されるムシである。後者の生活害虫を取り上げることによって、私たちが害虫とどのように対峙してきたのかを考察する。

内 容／

(1) 生活害虫としてのムシ

ムシは私たちの暮らしの身近なところにいる。ゴキブリやムカデなどは、たびたび私たちの生活領域に侵入してくるため、害虫として認識され駆除される。このような害虫という認識は、所与のものではなく、文化的に構築されていくものである。戦後の住宅事情の変化と害虫認識の変化、ゴキブリの十人十色な対処法などを紹介した。

(2) 信仰とムシ

虫送りや庚申講といった信仰が、前近代社会においては数多く行われてきた。町内の虫送りや庚申講の資料を展示した。また、虫送りでは虫窟の地名由来を紹介した。そのほか、現在でも行われている庚申講として平塚市入山瀬の庚申講を、疍の虫の紹介として平塚市の事例を展示した。

(3) 博物館とムシ

博物館は地域資料を多数保管している。寄贈を受け、清掃のうで収蔵庫に保管されるが、注意をしないとムシが繁殖してしまうことがある。博物館のムシ対策として燻蒸や IPM の様子、文化財害虫などを展示する。(1)生活害虫としてのムシ、(2)信仰とムシで展示した資料群を含めて、郷土資料館では資料保管をどのように行っているのか、取り組みを知ってもらおう。

〔関連行事〕

展示解説

日 時／令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）、12 月 20 日（土）、令和 8 年 1 月 17 日（土）14 時 00 分～14 時 30 分

場 所／郷土資料館 企画展示室

参加者数／第 1 回 15 人、第 2 回 19 人、第 3 回 33 人

内 容／担当学芸員が展示内容を紹介した。

（担 当）真保・鷹野・村田

企画展「山本丘人と大磯」

期 間／令和 8 年 2 月 21 日（土）～3 月 15 日（日）

開場日数／20 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 30 点

料 金／大人 500 円、中高生 200 円

協 力／美術館夢呂土・山本丘人記念館

観覧者数／697 人

趣 旨／山本丘人画伯の業績とともに、人柄や大磯での暮らしぶりを、企画展を通して紹介する。

内 容／大磯で描かれた本画の他、学生時代の作品や下図を出品した。また、東京美術学校の制服や文化勲章受章時に着用した和服、使用していた画材などを展示した。



〔関連行事〕

講演会

日 時／令和 8 年 2 月 23 日（月・祝）13 時 30 分～14 時 30 分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／平塚市美術館 勝山 滋 氏

参加者数／47 人

内 容／山本丘人画伯の作品の特徴や、同時代の日本画家との比較についてお話しいただいた。

展示解説

日 時／令和 8 年 3 月 1 日（日）、3 月 15 日（日）14 時 00 分～

場 所／郷土資料館 企画展示室

参加者数／第1回32人、第2回25人

内 容／担当学芸員が展示内容を紹介する。

〔関連商品の販売〕

美術館夢呂土・山本丘人記念館及び成川美術館が販売する関連商品の販売を受託した。絵葉書の販売を受託し、総点数302点、36,240円（内町収入分は7,248円）の売上げがあった。

（担 当）北水・富田・長谷川

大磯海水浴場開設140周年記念ミニ企画展「大磯海水浴場物語～医療からレジャーへ」

期 間／令和7年7月2日（水）～令和8年2月3日（火）

開場日数／170日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約2点

料 金／無料

観覧者数／13,779人

趣 旨／大磯海水浴場が開設140周年を迎えたことに伴い、大磯の海水浴場のあゆみと大磯の近代化について紹介する。また、大磯海水浴場の開設に尽力した松本順の功績を取り上げる。

内 容／作成したポスター9枚を掲示し、関連資料として、郷土資料館が所蔵する海水浴場関係資料及び鉄道関係資料数点を展示ケース内にて展示した。

（担 当）長谷川・真保・國見

ミニ企画展「貝」

期 間／令和8年2月5日（木）～6月30日（火）

開場日数／122日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約55点

料 金／無料

観覧者数／4,061人（令和8年3月末現在）

趣 旨／大磯町の南側は海に面しており、海岸を歩くと様々な貝を見ることができる。砂浜と岩場では異なる貝が生息しており、照ヶ崎海岸の岩礁を中心に砂浜が広がる大磯町は、まさに貝の宝庫と言える。今回は貝の分類や貝の体のつくり、砂浜・岩場で見られる貝、大磯近海で見られる貝について紹介する。

内 容／作成したポスター7枚を掲示し、関連資料として郷土資料館が所蔵する大磯近海の貝18種類48点を展示ケース内に展示した。

（担 当）村田・北水

出張展示「大磯の縄文」

期 間／令和7年6月6日（金）～6月15日（日）

開場日数／9日間

会 場／町立図書館 本館2階展示コーナー

出品点数／土器約20点

料 金／無料

主 催／図書館をサポートする会大きなおうち、町立図書館、郷土資料館

観覧者数／222人

趣 旨／今井しょうこ氏『変わる縄文』（KADOKAWA）の刊行イベント「あなたの近くにある縄文の世界」（図書館をサポートする会大きなおうち、大磯町立図書館主催）にあわせ、大磯の遺跡から出土した縄文時代の土器などを展示し、書籍やイベントに関連する資料を紹介した。

内 容／縄文時代（石神台遺跡・大磯小学校遺跡・平遺跡等）の展示を行った。

（担 当）國見・真保

出張展示「国府小学校の発掘調査」

期 間／令和7年7月9日（水）～7月25日（金）

開場日数／12日間

会 場／国府小学校

出品点数／10 点

料 金／無料

観覧者数／国府小学校在籍児童対象

趣 旨／国府小学校の敷地に所在する大磯町 No. 102 遺跡の調査（平成 2 年及び平成 8 年実施）によって発見された遺物を展示し、小学 6 年生の社会科授業の一環として、実物資料を実見する機会を設ける。

内 容／古墳時代後期の土師器、平安時代の白磁、近世の磁器を展示した。

（担 当）國見

出張展示「石神台遺跡」

期 間／令和 7 年 10 月 11 日（土）

開場日数／1 日間

会 場／石神台会館

出品点数／約 50 点

料 金／無料

観覧者数／56 人

趣 旨／石神台地区の文化祭において石神台遺跡に関する講演会が開催されることに併せて、実物の遺物を実見する機会をつくる。

内 容／石神台遺跡から出土した縄文土器、土師器、石器や大磯小学校遺跡から出土したイルカ椎骨を展示した。

（担 当）國見

大磯うつわの日出張展示「儀礼の器」

期 間／令和 7 年 10 月 21 日（火）～11 月 5 日（水）

開場日数／13 日間

会 場／町立図書館

出品点数／2 点

料 金／無料

観覧者数／4,591 人

趣 旨／古今東西、日常生活から特別な時間・空間に至るまで人間の暮らしには器が欠かさず使われてきた。考古学・民俗学の両分野の視点から、注口土器やダイカイといった儀礼にかかわる器を紹介する。

内 容／展示ケース内に注口土器とダイカイを展示した。

（担 当）真保・國見

大磯自然発見コーナー

趣 旨／大磯町内で採集できる自然資料などを館内に展示し、自然観察の参考となる情報を提供する。自然環境に関心が高めるきっかけつくりにつなげる。

〔第 1 回〕「毒のある生き物たち」

期 間／令和 7 年 9 月 9 日（火）～令和 8 年 2 月 26 日（木）

出品点数／8 点

内 容／大磯町に生息する生き物の中で、毒をもつ生き物を紹介する。

〔第 2 回〕「大磯で見つけた海の生き物」

期 間／令和 8 年 2 月 27 日（金）～

出品点数／4 点

内 容／照ヶ崎海岸や港で採集した生き物を写真で紹介する。

■ ワークショップ

<古文書裏打クラブ>

期 日／令和7年4月19日(土)、5月17日(土)、6月21日(土)、8月16日(土)、9月20日(土)、10月18日(土)、11月15日(土)、12月20日(土)、令和8年1月17日(土)、2月21日(土)、3月21日(土) ※7月は燻蒸のため休会

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／15人

活動内容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書などの資料化を進める。使用する道具の数量などの都合上、現在、会員は募集していない。

参加者数／ 単位：人

開催日	4/19	5/17	6/21	8/16	9/20	10/18	11/15	12/20	1/17	2/21	3/21	計
参加者数	14	13	11	10	13	11	11	10	12	11	11	127

(担 当) 富田・鷹野

<古文書解読クラブ>

土曜日の会

期 日／令和7年4月5日(土)、5月3日(土)、6月7日(土)、7月5日(土)、8月2日(土)、9月6日(土)、10月4日(土)、11月1日(土)、12月6日(土)、令和8年1月10日(土)、2月7日(土)、3月7日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／13人

活動内容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解読し、翻訳文を刊行することを目指している。なお、会員は随時募集し、本年度は2名が入会した。

参加者数／ 単位：人

開催日	4/5	5/3	6/7	7/5	8/2	9/6	10/4	11/1	12/6	1/10	2/7	3/7	計
参加者数	6	6	6	9	8	9	6	6	7	8	6	12	89

金曜日の会

期 日／毎週金曜日を原則として実施

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／6人

活動内容／毎月第一土曜日を原則として活動する古文書解読クラブの会員有志によって始まった活動。令和6年度から金曜日の会として独立した。大正期の大磯町助役が作成した雑書綴りの目録を作成し、11月からは吉田茂の絵葉書を解読した。なお、会員は随時募集し、本年度は2名が入会した。

参加者数／ 単位：回、人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実施回数	2	3	4	3	3	3	3	4	4
参加者数	8	13	21	19	14	19	25	21	21
	1月	2月	3月	合計					
実施回数	4	3	3	44					
参加者数	16	18	20	215					

(担 当) 富田・鷹野

<写真整理クラブ>

期 日／令和7年4月10日（木）・24日（木）、5月8日（木）・6月12日（木）・28日（土）、7月10日（木）・24日（木）、8月14日（木）・28日（木）、9月11日（木）・25日（木）、10月9日（木）・23日（木）、11月27日（木）、12月11日（木）・25日（木）、令和8年1月8日（木）・22日（木）、2月12日（木）・26日（木）、3月12日（木）・26日（木） ※11月13日は担当者の都合のため休会

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／4人

活動内容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平成28年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。今年度も引き続き、町広報担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化する。また、必要に応じてフィルムの清掃を行う。ネガフィルムのアルバム全28冊の内、21冊目（資料番号N21）まで、フィルムをデジタル化した。なお、令和5年度から参加者及び担当者の都合により原則第二、第四木曜日に活動することになった。本年度は会員を募集しなかった。

参加者数／ 単位：人

開 催 日	4/10	4/24	5/8	6/12	6/28	7/10	7/24	8/14	8/28
参加者数	5	4	4	3	2	5	3	3	3
開 催 日	9/11	9/25	10/9	10/23	11/13	11/27	12/11	12/25	1/8
参加者数	5	4	4	5	休講	5	3	4	4
開 催 日	1/22	2/12	2/26	3/12	3/26	計			
参加者数	5	4	4	3	4	86			

（担 当）富田

<海の教室>

特定の学問分野にかかわらず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施している。

「海を学ぼう！楽しい海藻おしばづくり」

期 日／令和7年7月31日（木）

場 所／郷土資料館 研修室

参加者数／32人

	大人	子ども
午前	4	11
午後	6	11
計	10	22

内 容／現在全国的に磯焼けなど藻場が減少している。海藻の大切さ、海の森の大切さ、陸の森と海の森のつながりなど、DVD教材を使用し、海の環境保全の大切さを解説する。その後照ヶ崎海岸をはじめ神奈川県の実地で拾った海藻を使った海藻おしばづくりを行った。

（担 当）高山

「海の漂着物で君だけの作品を作ろう！」

期 日／令和7年8月7日（木）

場 所／郷土資料館 研修室

参加者数／16人（大人1人、子ども15人）

内 容／漂着物には自然のもの、人工のもの、海のもの、陸のものなどがある。漂着物を知ることによって海の中には陸からでは見ることが出来ない生き物がいることや人の関わった様々なものが流れ着くことを知ることが出来る。人間が出した物が自然界に影響を与えていることを知り、身近な海の環境に目を向けるきっかけとする。また、実際に大磯の海岸で拾うことのできる漂着物を使って作品を作った。

（担 当）村田

「探してみよう！海のモンスター」

期 日／令和8年3月25日（水）

場 所／郷土資料館 研修室

参加者数／6人

内 容／パックに入っている「ちりめんじゃこ」には、数種類の海の生物の幼体が混ざっている。
「ちりめんじゃこ」の海の生物のうち、気に入ったものを選び、海のキーホルダーを作成した。

（担 当）高山

＜町内施設クイズラリー＞

「いそべえとあおみからの挑戦状！～郷土資料館クイズラリー～」

期 日／令和7年8月2日（土）～11月30日（日）

場 所／郷土資料館・旧吉田茂邸

参加者数／221人

内 容／子ども及び子育て世代への町に対する興味関心や文化施設の利用を促すことを目的として、郷土資料館と旧吉田茂邸を利用したクイズラリーを実施した。クイズを全て回答した参加者には、景品として缶バッジを郷土資料館にてお渡しした。

（担 当）長谷川

＜甲冑ワークショップ＞

「甲冑を着てみよう！～日本の甲冑のお話と模擬甲冑の試着～」

期 日／令和7年10月11日（土）

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／神奈川県立歴史博物館 梯 弘人 氏

協 力 者／北條手作り甲冑隊 埴原 かをり 氏・荻野 龍子 氏

参加者数／16人（大人11人、子ども5人）

内 容／郷土資料館所蔵の伊藤博文から大磯小学校へ贈られたと伝わる甲冑を題材として、日本で使用された甲冑の仕組みを紹介する講座を行い、実際に模擬甲冑（手作り甲冑）を試着することによって、甲冑に関する理解を深めた。

（担 当）富田・長谷川

■ 博物館実習

令和7年度は、成城大学大学院、青山学院大学、八洲学園大学、相模女子大学、日本大学、鶴見大学、松蔭大学の7大学より7名の学生を受け入れた。実習期間は8月19日から23日、26日、27日及び7月29日（事前ガイダンス）、9月17日（課題等提出）の計9日間とした。

実習課程は、資料の整理などの実践的な作業、展示作成、クラブ活動の体験とする。

＜課程＞

月 日	曜日	午 前	午 後
7月29日	火		ガイダンス／館内見学
8月19日	火	講義（博物館活動の概要）	実務実習（自然資料の整理）
8月20日	水	実務実習（資料の取扱い）	
8月21日	木	実務実習（歴史資料の整理）	
8月22日	金	クラブ活動の運営 （古文書解読クラブの参加）	実務実習（歴史資料の整理）
8月23日	土	実務実習（民俗資料の整理）	
8月26日	火	実務実習（民俗資料の整理）	
8月27日	土	展示実習（展示準備の説明、民俗資料の展示替え）	

月 日	曜日	午 前	午 後
9月17日	水	課題提出	

(担 当) 富田・真保・鷹野・長谷川・村田・北水

■ 研究活動

民俗調査

内 容／コロナ禍を経て、町内各地の祭礼等の民俗行事が再開されつつある。民俗行事は時代ごとの影響を受けやすく、現在の様態の記録が急務であると考え、令和6年度に続き祭礼などの無形民俗文化財（未指定を含む）を中心に調査した。このほか、企画展の調査として住生活や漁業に関する調査を実施した。

調査先	内容	月 日
西小磯西	人生儀礼	4月6日
北下町	御船祭	4月6日
黒岩	池乃神社祭礼	4月6日
北下町・南下町	左義長	4月6日
中丸	祭礼	4月8日
黒岩	酪農	4月8日
南下町	漁業・祭礼	4月10日・12日
山王町	自然環境	4月11日
高麗	高麗の山神輿	4月19日・20日
国府新宿	稻荷講	4月22日
生沢	五月人形	4月29日
国府地区	相模国府祭	4月29日～5月6日
高麗	ひな人形	4月30日
北下町	御船祭	4月30日、5月10日
南下町	御船祭	5月11日・20日
国府新宿	ひな人形	5月14日
高麗	ひな人形	5月20日
西小磯西	自然環境	5月20日
北下町	御船祭	5月25日
生沢	五月人形	5月28日
国府新宿	国府祭	5月29日
中丸	風景・景観	6月3日
西小磯東	七夕行事	6月8日
北下町	御船祭	6月8日
南下町	御船祭	6月10日
西小磯東	八坂神社祭礼	6月14日
南下町・裡道・茶屋町	風景・景観	6月17日
山王町	自然環境	6月21日
北下町	御船祭	6月21日
南下町	御船祭	6月29日
小田原市田島	風景・景観	7月3日
中丸	八坂神社祭礼	7月6日～7日
西小磯	八坂神社祭礼	7月12日～14日・25日
山王町	石造物	7月17日
大磯	御船祭	7月19日～21日
西小磯東	七夕行事	7月26日、8月1日・5日～7日

調査先	内容	月日
中丸	石造物	7月29日
高麗	盆踊り	8月9日
西小磯西	七夕行事	8月9日・10日
西小磯	盆行事	8月14日
東小磯	住生活	8月15日
生沢	盆行事	8月16日
北下町	祭礼	8月31日
中丸	住生活	9月2日
西小磯東	宇賀神社祭礼	9月7日
神明町	住生活	9月11日
石神台	住生活	9月12日
山王町	社会組織	9月18日
西小磯西	住生活	9月24日
北下町	住生活	9月25日
長者町	口承文芸	9月28日
長者町	衣食住・祭礼	10月8日
山王町	人生儀礼	10月15日
西小磯東	住生活・社会組織	10月16日
虫窪	年中行事	10月23日
中丸	身代り地蔵	10月24日
虫窪	年中行事	11月19日
平塚市須賀	漁業	11月22日
大磯地区	左義長	11月25日・27日
虫窪	年中行事	12月3日
月京	年中行事	12月9日
北下町・南下町	左義長	12月7日
山王町	衣生活	12月12日
南下町	左義長	12月13日
東小磯	年中行事	12月19日
虫窪	年中行事	12月26日
北下町	左義長	12月27日
高麗	年中行事	1月2日
中丸	小正月	1月10日～12日
北下町・南下町	左義長	1月11日・14日～18日・30日
虫窪	小正月	1月14日
中丸	身代り地蔵	1月24日、2月10日
南下町	年中行事	2月3日
西小磯東	農業	2月5日
南下町	自然環境	2月6日
東町	年中行事	2月7日
南下町	御船祭	2月7日
西小磯西	諸職	2月14日
茶屋町	社会組織	2月17日
南下町	漁業	2月18日
横須賀市（横須賀市自然・人文博物館）	漁業	2月19日
国府新宿	ひな人形	2月20日
西小磯地区	白岩神社祭礼	2月28日、3月1日
茶屋町	年中行事	3月9日
山王町	衣食住	3月12日

調査先	内容	月日
南下町	漁具	3月12日・14日
長者町	口承文芸	3月22日
山王町	交通・交易	3月24日
真鶴町(真鶴町立遠藤貝類博物館)	漁業・自然環境	3月26日

(担当) 真保

■ 博物館資料の整備

<所蔵資料の整理>

歴史

コレクション資料

- ・別荘関係資料を新たに4点受け入れ、所蔵点数が344点になった。
- ・伊藤博文関係資料を新たに72点受け入れ、所蔵点数が291点になった。
- ・吉田茂関係資料を新たに10点受け入れ、購入及び採集し、所蔵点数が4,836点になった。
- ・安田靫彦関係資料を新たに2点受け入れ及び購入し、所蔵点数が16点になった。
- ・鳴立庵関係資料を新たに92点受け入れ、所蔵点数が2,056点になった。

絵葉書

- ・新たに4点受け入れ及び購入し、所蔵点数が953点になった。

写真

- ・ホームページの収蔵資料データベースに、大磯町広報担当撮影写真の画像を12シリーズ公開した画像の件数は、計87シリーズ。

民俗

- ・資料受入台帳で確認できる5,936件(22,558点)の内、545件(2,164点)が終了した。
- ・資料受入台帳で確認できる5,936件中、83件が一部散逸・追加処理が必要な未確定状態となっていることが判明した。

(担当) 富田・鷹野・真保・長谷川・加藤

■ 刊行物

<図録・冊子>

- | | | |
|------------------------------|--------|----------------|
| ・『Report—大磯町郷土資料館だより—』No. 45 | A4判16頁 | オンライン(令和7年7月刊) |
| ・『大磯町郷土資料館年報』37号 | A4判60頁 | オンライン(令和7年9月刊) |
| ・企画展「くらしとムシ」図録 | A4判48頁 | 800部(令和7年11月刊) |
| ・企画展「山本丘人と大磯」図録 | A4判32頁 | 500部(令和8年2月刊) |
| ・資料館資料24『大磯町助役日誌』(大正一〇年) | A4判80頁 | 500部(令和8年3月刊) |

<チラシ・パンフレット>

- | | | |
|-----------------------------|-------|------------------|
| ・終戦80年企画展「資料と証言に見る大磯と戦争」チラシ | A4判両面 | 5,000部(令和7年7月刊) |
| ・企画展「くらしとムシ」チラシ | A4判両面 | 5,000部(令和7年10月刊) |
| ・企画展「山本丘人と大磯」チラシ | A4判両面 | 3,000部(令和8年1月刊) |

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数> 単位: 団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
見 学	6	3	0	4	1	1	2	0	7	3	2	0	29

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・国立歴史民俗博物館／4月6日／2人(真保)

- ・東海大学／4月10日／1人（真保）
- ・川崎市立日本民家園・炉端の会／4月12日／1人（真保）
- ・成城大学大学院／4月17日／1人（真保）
- ・相模原市立博物館／4月24日／3人（真保）
- ・平塚市博物館／4月27日／1人（真保）
- ・湘遙会／5月10日／15人（北水）
- ・相模原市立博物館ボランティア／6月18日／21人（真保）
- ・山形県立博物館／7月8日／1人（真保）
- ・日高市／7月12日／2人（真保）
- ・宮城県栗原市くりでんミュージアム／7月25日／1人（真保）
- ・輪島市教育委員会／7月26日／3人（北水）
- ・成城大学大学院／8月5日／3人（真保）
- ・駒澤大学応用地理研究所／9月12日／1人（真保・國見）
- ・フレーベル館／10月28日／12人（北水）
- ・二宮町ゆめクラブ連合会／12月3日／17人（北水）
- ・神奈川県文化財協会／12月3日／40人（北水・鷹野・真保・村田・國見）
- ・成城大学／12月12日／1人（真保）
- ・横須賀市自然・人文博物館／12月17日／1人（真保）
- ・大磯町立学校新採用職員／12月23日／8人（北水）
- ・成城大学／12月26日／2人（真保）
- ・世間話研究会／12月27日／12人（真保）
- ・山北町文化財保護委員会／1月8日／9人（北水）
- ・玉川大学／1月18日／2人（真保）
- ・成城大学／1月22日／2人（真保）
- ・相模民俗学会／1月25日／10人（真保）
- ・大磯町立学校新採用職員／2月25日／1人（北水）

■ 取材対応

<刊行物>

- ・読売新聞 令和7年4月16日対応「大磯における本土決戦対応の状況について」（富田）
- ・東京新聞 令和7年7月30日掲載「海水浴場×神奈川県大磯町」（長谷川）
- ・読売新聞 令和7年8月7日掲載「我がまち再発見 神奈川・大磯編(下)」（富田）
- ・神奈川新聞 令和7年8月8日掲載「大磯海水浴について」（長谷川）
- ・読売新聞 令和7年8月14日掲載「大磯と戦争その目で見て」（長谷川）
- ・神奈川新聞 令和7年8月27日掲載「地元の空襲被害伝え」（長谷川）
- ・東京新聞 令和7年9月1日掲載「終戦80年企画展『資料と証言に見る大磯と戦争』」（富田）
- ・読売新聞 令和7年11月18日掲載「戦後80年遺構を歩く8陣地壕 本土決戦備え」（富田）
- ・産経新聞 令和7年12月12日掲載「大磯町で『くらしとムシ』展」（真保）
- ・タウンニュース 令和7年12月12日掲載「ムシから紐解く地域文化」（真保）
- ・東京新聞 令和7年12月22日掲載「くらしとムシー生活・信仰・文化財」（真保）
- ・産経新聞 令和8年2月18日掲載「不遇列伝 松本良順」（長谷川）
- ・タウンニュース 令和8年2月27日掲載「日本画家山本丘人に迫る」（長谷川）
- ・神奈川新聞 令和8年3月4日掲載「絵画や遺品 技術伝え 山本丘人の企画展」（富田）

<ウェブサイト>

- ・Yahoo!ニュースエキスパート 令和7年8月22日公開「大磯町：日本初の海水浴場じゃなかった？」（長谷川）

<テレビ・ラジオ>

- ・NHK『鶴瓶の家族に乾杯（令和7年7月28日・8月4日放送）』『神奈川県大磯町』（北水・鷹野）
- ・ケーブルテレビ（令和7年8月10日対応）「西小磯西地区の七夕行事について」（真保）

- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド（令和7年8月11日初回放送）』「終戦80年企画展『資料と証言に見る大磯と戦争』」（長谷川）
- ・テレビ神奈川『日本の祭り（令和7年9月15日放送）』「大磯の七夕行事～祓いと再生を紡ぐ海辺の祈り」（真保）
- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド（令和7年11月11日初回放送）』「企画展『くらしとムシ』」（真保・村田）
- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド（令和8年3月3日初回放送）』「企画展『山本丘人と大磯』」（長谷川）
- ・ケーブルテレビ『情報カフェ！湘南館ワイド（令和8年3月31日初回放送）』「春休み海の教室『探してみよう！海のモンスター』」（村田・高山）

■ レファレンス対応

- ・令和7年4月19日／大磯の廻船問屋について／個人（富田）
- ・令和7年5月13日／戦国時代の鉄砲鑄造と大磯の土について／個人（富田）
- ・令和7年5月15日／チャンチャン横丁について／個人（鷹野）
- ・令和7年5月25日／アーサー・R・バジェットについて／個人（富田・今井）
- ・令和7年5月25日／器の歴史について／個人（國見）
- ・令和7年6月6日／高麗と若光について／県自然環境保全センター（富田）
- ・令和7年6月7日～8日／大磯プリンスホテル所在地の前身について／個人（富田・鷹野）
- ・令和7年7月2日／黒岩出土の槍先型尖頭器について／個人（國見）
- ・令和7年7月4日／横浜の山下公園と山下亀三郎の関係について／個人（長谷川）
- ・令和7年7月23日／1940年代に大磯に居住したユダヤ人について／個人（富田）
- ・令和7年8月14日／用田村伊東家について／個人（富田）
- ・令和7年8月21日／善兵衛池に関する資料について／個人（長谷川）
- ・令和7年8月22日／横穴墓の位置等に関して／個人（國見）
- ・令和7年8月24日／吉田茂邸敷地内の横穴墓について／個人（國見）
- ・令和7年8月27日／本土決戦について／個人（富田）
- ・令和7年8月31日／長生館と有村国彦について／個人（北水・鷹野）
- ・令和7年9月4日／二宮町山西の藤巻寺について／個人（長谷川）
- ・令和7年9月10日／江戸時代街道図鑑の地名の読み方について／個人（長谷川）
- ・令和7年9月17日／大磯城山公園内 木の名称について／個人（北水）
- ・令和7年9月24日／神明町付近の別荘について／個人（長谷川）
- ・令和7年9月28日／展示中の甲冑の材質について／個人（國見）
- ・令和7年10月15日／白岩神社の由来について／個人（真保）
- ・令和7年12月5日～6日／旅籠屋の資料について／個人（富田）
- ・令和7年12月7日／御船祭及び左義長について／個人（真保）
- ・令和7年12月10日／郷土資料館の所蔵資料点数等について／個人（長谷川）
- ・令和7年12月10日～11日／大磯城山公園内のツブラジイの分布について（北水・村田）
- ・令和7年12月11日／横穴墓の基数について／個人（國見）
- ・令和7年12月21日／樋口季一郎の大磯の居住地について／個人（長谷川）
- ・令和8年1月10日／白岩神社の御神木について／西小磯東区長（鷹野）
- ・令和8年1月13日・22日／新島八重所有の土地について／個人（北水）
- ・令和8年1月14日／町の花・ゆかりのある植物について／大磯町産業観光課（村田）
- ・令和8年1月14日／左義長に使う竹の行方について／個人（真保）
- ・令和8年1月14日／大磯プリンスホテル内の石造物について／個人（鷹野）
- ・令和8年1月15日／高田保公園について／個人（富田）
- ・令和8年1月15日・21日／万葉集に見られる「こゆるぎ」について／個人（北水）
- ・令和8年1月17日／渡来人の渡来ルートについて／個人（鷹野）
- ・令和8年1月18日／大磯高等女学校の卒業生の就職先について／個人（富田）
- ・令和8年1月22日／「くらしとムシ展」展示内容について／個人（村田）
- ・令和8年1月24日／大磯地区採集の瓦について／個人（國見）

- ・令和8年1月30日／六所神社氏子役員規約について／個人（真保）
- ・令和8年1月31日／神明前遺跡煉瓦遺構について／個人（國見）
- ・令和8年3月7日／旧東海道の位置及び新島裏終焉地について／個人（真保・國見）
- ・令和8年3月19日／銚子海水浴場に関連する漢詩作者について／個人（長谷川）
- ・令和8年3月28日／町内採集の土器について／個人（國見）
- ・令和8年3月29日／郷土資料館中庭の桜の種類について／個人（真保）

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの更新>

- ・休館情報を公開した。
- ・「100年前の大磯～小見助役の一日～」を更新した。

<ブログの更新>

- ・年間を通して、郷土資料館は12回、旧吉田茂邸は2回更新した。

<SNSの利用>

- ・X（旧 Twitter）は、年間を通して102回投稿し、566件の反応があった。フォロワー数は1,585件。
- ・Facebookは、年間を通して97回投稿し、1,111件の反応があった。フォロワー数は476件。
- ・Instagramは、年間を通して37回投稿し、1,071件の反応があった。フォロワー数は466件。

※フォロワー数は、令和8年4月1日確認。

<刊行物のオンライン公開>

- ・『年報』及び『Report—大磯町郷土資料館だより—』、当館発行の図録の書誌データを奈良文化財研究所が管理している「全国文化財総覧」に登録した。
- ・アクセス回数は32,088回、ダウンロード件数は12,014件だった。
- ・全国文化財総覧に書誌データを登録したことにより、国立情報学研究所の論文・雑誌等の学術情報検索データベースであるCinii Researchに『年報』や『資料館だより』の書誌情報が掲載された。

■ 博物館資料の収集・整備・利用

<寄贈資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄贈者
2025-0401	R7.4.6	雛人形ほか	3	渡辺正
2025-0402	R7.4.6	ラジカセほか	11	北下御船祭保存会
2025-0403	R7.4.6	大磯の左義長の本札	1	岩田匡弘
2025-0404	R7.4.12	ホッピーのガラス瓶（漂着物）	1	福田良昭
2025-0405	R7.4.15	貝標本（西小磯の海岸）	一括	波多野収三
2025-0501	R7.4.22	稻荷講の道具	一括	杉山久雄
2025-0502	R7.4.30	猪口網の船の模型	1	近藤明美
2025-0503	R7.5.2	襖下張り	一括	国営昭和記念公園
2025-0504	R7.5.15	花瓶	1	柴崎芳則
2025-0506	R7.5.20	ひな人形ほか	3	追川ゆう子
2025-0507	R7.5.27	コゲラの巣	3	波多野収三
2025-0602	R7.5.28	五月人形	一式	高島京子
2025-0603	R7.6.26	古文書、写真、額類	一括	島崎一文
2025-0604	R7.6.27	出征日章旗	1	飯田福信
2025-0605	R7.6.19	漂着物（生物）	一括	福田良明
2025-0606	R7.6.19	漂着物（人工物）	一括	飯田福信
2025-0607	R7.6.27	ガラス浮き・集魚灯	1	菅野光雄

No.	受入年月日	資料名	数量	寄贈者
2025-0701	R7. 7. 6	菅谷義夫宛 吉田茂書簡	1	平岡瑞枝
2025-0703	R7. 7. 10	吉田茂邸焼失前写真データ	2	二見正次
2025-0704	R7. 7. 27	大磯駅写真ほか	6	小石川智恵子
2025-0705	R7. 7. 31	窓ガラスほか	一括	森禮子
2025-0901	R7. 9. 2	出征記念写真ほか	3	渡邊正
2025-0902	R7. 9. 6	酒ビン	2	宇賀神社
2025-1001	R7. 10. 5	山王町町内会使用道具・文書	一括	山王町区長
2025-1002	R7. 9. 12	虫コナーズ	1	藤原英理子
2025-1003	R7. 9. 12	ゴキジェットプロ	1	今井沙穂里
2025-1004	R7. 10. 1	ハッカ油ほか	5	鷹野真子
2025-1007	R7. 10. 8	手鏡ほか	5	石井三郎
2025-1008	R7. 10. 16	反物（吉田茂着用ガウン）ほか	3	関根昌黛
2025-1009	R7. 10. 15	日本人形（汐汲）	1	柴山自動車
2025-1201	R7. 12. 3	太田聴雨宛安田軼彦書簡	1	青木洋子
2025-1202	R7. 12. 3	稲荷講の道具	一括	二宮敏明
2025-1203	R7. 12. 17	書籍『昭和戦史』ほか	2	山下よし子
2025-1204	R7. 12. 12	給仕盆・衣類	一括	木村純子
2026-0101	R8. 1. 6	虫窪路線バス開通の写真	1	土方正美
2026-0102	R8. 1. 8	新型コロナウイルス感染症関係資料	3	富田三紗子
2026-0103	R8. 1. 21	写真アルバム、勲章、賞状	一括	今井健介
2026-0104	R8. 1. 9	オカザリ	1	藤原英理子
2026-0105	R8. 1. 24	発電機ほか	4	二挺木政義
2026-0106	R8. 1. 28	蚊取り線香ほか	2	加藤さおり
2026-0201	R8. 2. 3	仮宮ほか	4	子の神地区
2026-0202	R8. 2. 5	クワほか	11	柳田博司
2026-0203	R8. 2. 6	蚊遣豚	1	藤原英理子
2026-0204	R8. 2. 5	昆虫標本ほか	一括	渡辺康正
2026-0206	R8. 2. 20	中山甚関係資料	一括	川口崇文
2026-0207	R8. 2. 7	タオル	1	東町町内会
2026-0301	R8. 3. 1	刀掛け	2	西小磯大部落
2026-0303	R8. 3. 12	湯たんぽほか	43	木村純子
2026-0304	R8. 3. 12	木製箱ほか	18	大磯港 恒丸
2026-0305	R8. 3. 19	盃（軍艦榛名御親閲記念）	1	長谷川信子
2026-0306	R8. 3. 18	ハチの巣	1	福田良昭
2026-0307	R8. 3. 24	食肉魚類行商人之證ほか	5	柳田学
2026-0308	R8. 3. 24	面ほか	9	西小磯西区
2026-0309	R8. 3. 27	伊藤博文書幅	1	北島静子

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	移管元
2025-0702	R7. 7. 10	大磯町防災服	一式	危機管理課
2026-0302	R8. 3. 12	御船祭の模型	1	産業観光課

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	購入先
2025-0505	R7. 5. 28	大野木秀次郎宛吉田茂書簡	1	泰成堂書店
2025-0601	R7. 6. 14	掛軸 伊藤博文書状	1	福地書店
2025-0801	R7. 8. 14	絵葉書（高知市水道町御旅館城西館）	3	永森書店
2025-0802	R7. 8. 14	絵葉書（大磯海水浴場）	1	永森書店

No.	受入年月日	資料名	数量	購入先
2026-0205	R8. 2. 20	三輪安之助宛安田靱彦書簡	1	泰成堂書店

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量
2025-1101	R7. 11. 18	拓本（大磯小学校表札ほか）	2

<寄託資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄託者
2	S63. 6. 1	山高帽	一括	西小磯東区長
5	S63. 9. 2	四季耕作図 他	11	個人
17	H1. 8. 8	菊池重三郎関係資料	1, 510	個人
22	H4. 4. 1	稻荷講資料	一括	個人
23	H4. 4. 1	雛人形	一括	個人
30	H6. 4. 12	掛軸 他	一括	西小磯東区長・西小磯西区長
32	H7. 9. 12	獅子頭	2 (1 対)	裡道区長
35	H13. 7. 17	屏風 他	一括	南本町区長
37	H15. 4. 1	木造神像群	12	高来神社
40	H21. 12. 24	伊藤博文書幅	1	個人
41	H22. 2. 1	大久保家資料	一括	個人
43	H23. 6. 29	掛軸	1	個人
44	H26. 8. 12	脇差	1	個人
45	H27. 3. 6	鈴木芳如関係資料	156	個人
46	H27. 4. 16	画幅「七福神」 他	2	個人
48	H27. 8. 4	わきざし 他	8	個人
49	H27. 8. 4	わきざし	1	個人
50	H28. 6. 29	袖がらみ 他	2	個人
51	H28. 4. 5	杉戸絵 他	10	国土交通省関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所
52	H28. 10. 13	国府祭 鷺舞資料	一式	六所神社
53	H29. 7. 13	城山荘関係資料	57	個人
54	H29. 10. 26	招仙閣関係資料	26	東光院
55	H29. 1. 5	日本国憲法草案	2	個人
56	H30. 9. 9	生沢二宮家資料	一括	個人
57	R2. 1. 7	安田靱彦宛吉田茂書簡	一括	個人
58	R2. 3. 31	七賢堂関連資料	17	平塚土木事務所
59	R3. 9. 30	中島湘煙書簡	1	個人
60	R6. 5. 11	子ども会旗・七夕資料	一括	西小磯西区
61	R6. 8. 8	御船祭船山車部材（北下町）	一括	北下御船祭保存会

※寄託期間は最長2年とし、2年以降は更新を行う。現在の寄託期間は、令和8年3月31日まで。

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
絵画『高地の秋』	1	鑑定	R7. 4. 30 ～R7. 6. 24	山本丘人記念館
シガーケース他	8	展覧会	R7. 5. 22 ～R7. 9. 1	東京都庭園美術館
随神他	5	高来神社大祭	R7. 7. 12 ～R7. 7. 23	南本町

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
堂後下横穴墓群大刀片ほか	2	資料確認	R7. 9. 3 ～R8. 3. 6	東都文化財保存研究所
週刊読売（昭和42年11月15日号）ほか	2	展示	R7. 11. 6 ～R7. 11. 12	耕余塾を知る会
円筒埴輪	8	展示	R7. 11. 20 ～R8. 3. 31	神奈川県教育委員会
林董肖像写真他	6	展示	R8. 2. 11 ～R8. 7 月上旬予定	坂の上の雲ミュージアム
伊藤博文銅像ほか	7	展示	R8. 2. 27 ～R8. 3. 1	西小磯町内会
カセットテープ（大磯の民話ほか）	5	科学研究費による言語研究の研究	R8. 2. 18 ～R8. 3. 31	個人

＜資料の特別利用＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研究・学術	6	2	3	4	3	2	
刊行物掲載	1	0	3	4	6	6	
放映・動画配信	2	2	2	0	0	0	
ウェブ掲載	0	0	1	2	0	1	
展示	0	0	2	0	0	1	
その他	0	0	1	0	0	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究・学術	2	3	1	2	3	1	32
刊行物掲載	3	1	5	1	0	0	30
放映・動画配信	0	1	0	0	0	0	7
ウェブ掲載	0	0	0	0	1	0	5
展示	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	3

■ 文献資料収集状況

＜寄贈機関・関係団体一覧＞

[大磯町]	エリザベス・サンダース・ホーム、NPO 法人大磯ガイド協会、おおいそ文化芸術祭実行委員会、大磯町、大磯町教育委員会、大磯町教育委員会教育部生涯学習課、大磯町青少年指導員連絡協議会、大磯町地域学校協働活動地域コーディネーター、澤田美喜記念館
[茅ヶ崎市]	茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市文化振興財団、茅ヶ崎市博物館
[秦野市]	根丸島遺跡発掘調査団、秦野市教育委員会
[藤沢市]	日本大学生物資源科学部博物館、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館、藤沢市文書館、明治地区郷土づくり推進会議歴史文化部会
[平塚市]	平岡学園平岡幼稚園、平塚市教育委員会、平塚市博物館
[伊勢原市]	伊勢原大山センター土地画整理組合、公益財団法人雨岳文庫
[寒川町]	寒川町、寒川町教育委員会
[綾瀬市]	綾瀬市
[座間市]	座間市教育委員会
[小田原市]	小田原市、小田原市郷土文化館、小田原市教育委員会、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県植物誌調査会、佐藤光昭

[箱根町]	箱根町立郷土資料館
[南足柄市]	扣之帳刊行会、南足柄市
[山北町]	山北町地方史研究会
[横浜市]	岩崎博物館、大佛次郎記念館、神奈川県、神奈川県教育委員会、神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所、神奈川県博物館協会、神奈川県文化財課、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立金沢文庫、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、かながわ考古学財団、神奈川県文学振興会、シルク博物館、JICA 横浜海外移住資料館、玉川文化財研究所、鶴見大学博物館学芸員課程、鶴見大学文化財学会、馬事文化財団、睦合文化財株式会社、横浜開港資料館、横浜市教育委員会、横浜市ふるさと歴史財団、横浜植物会、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館、横浜みなと博物館、有隣堂
[川崎市]	川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園
[鎌倉市]	鎌倉国宝館、鎌倉市教育委員会、鎌倉考古学研究所、斉藤建設、湘南考古学同好会、鶴岡八幡宮社務所、トレスクリエイティブ
[横須賀市]	観音崎自然博物館
[葉山町]	葉山しおさい博物館
[三浦市]	三浦市
[厚木市]	厚木市
[相模原市]	相模原市教育委員会
[真鶴町]	真鶴町立中川一政美術館
[清川村]	丹沢自然保護協会
《県外》	
[茨城県]	稲敷市立歴史民俗資料館、茨城県立歴史館、土浦市立博物館
[栃木県]	小山市立博物館、栃木県立博物館、壬生町立歴史民俗資料館
[埼玉県]	上里町立郷土資料館、埼玉県立川の博物館、日高市教育委員会、ふじみ野市教育委員会、立正大学博物館
[千葉県]	伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川考古博物館、市立市川自然博物館、市立市川歴史博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、千葉県、千葉県立中央博物館、飛ノ台史跡公園博物館、船橋市郷土資料館、松戸市戸定歴史館、松戸市立博物館、茂原市教育委員会
[東京都]	板橋区立郷土資料館、エクスナレッジ、NHK出版、大田区立郷土博物館、お札と切手の博物館、外務省外交史料館、学習院大学学芸員課程委員会、国際文化財、国立ハンセン病資料館、駒澤大学禅文化歴史博物館、品川区立品川歴史館、四門、四門文化財、昭和館、住友林業株式会社、成城大学民俗学研究所、西東社、大修館書店、大成エンジニアリング株式会社、玉川大学教育博物館、中央区教育委員会、調布市郷土博物館、千代田区立日比谷図書文化館、東京家政学院生活文化博物館、東京家政大学博物館、東京都江戸東京博物館、豊島区立郷土資料館、豊島区立鈴木信太郎記念館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、土木学会、中野区教育委員会、日本建築士会連合会女性委員会、日本博物館協会、パスコ、PHP研究所、日野市郷土資料館、風人社、府中市、府中市郷土の森博物館、堀文子記念館「堀文子ホルトノキの会」、町田市教育委員会、港区立郷土歴史館、明治大学学芸員養成課程、靖国神社社務所、立正大学ロータスギャラリー特別展示室
[静岡県]	伊豆の国市教育委員会、静岡県立美術館、沼津市歴史民俗資料館、浜松市博物館、三島市教育委員会、三島市郷土資料館
[愛知県]	安城市歴史博物館、一宮市博物館、一宮市尾西歴史民俗資料館、江戸軟派研究、豊橋市美術博物館友の会、豊橋市二川宿本陣資料館
[山梨県]	南アルプス市教育委員会、山梨市教育委員会
[群馬県]	渋川市教育委員会
[長野県]	茅野市教育委員会、茅野市文化財課文化財係、茅野市八ヶ岳総合博物館
[福島県]	木曾町、白河市歴史民俗資料館
[新潟県]	十日町市博物館
[富山県]	氷見市立博物館

[石川県]	能登里海教育研究所
[三重県]	桑名市博物館、鈴鹿市考古博物館
[和歌山県]	和歌山県立自然博物館、和歌山県立文書館
[大阪府]	大阪市立自然史博物館、富田林市教育委員会
[兵庫県]	人と防災未来センター
[岐阜県]	近代国際陶磁研究会
[滋賀県]	草津市立草津宿街道交流館
[京都府]	向日市文化資料館
[広島県]	クマヒラ・ホールディングス
[高知県]	高知県牧野記念財団
[岩手県]	奥州市牛の博物館
[宮城県]	東北歴史博物館、石巻市博物館
[青森県]	青森県立郷土館
[北海道]	帯広百年記念館、沙流川歴史館、美幌博物館、平取町教育委員会文化財課
[佐賀県]	有田町歴史民俗資料館

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動

■ ミニ企画展

企画展「吉田茂と振り返る終戦 80 年」

期 間／令和 7 年 5 月 2 日（金）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

開場日数／275 日間

会 場／旧吉田茂邸

観覧者数／23,871 人

趣 旨／吉田茂は、第二次世界大戦期に和平工作に奔走し、戦後は日本の独立と復興に尽力したことで知られる人物である。本展示では、こうした吉田の活動・活躍について、テーマを戦前・戦中・戦後に分け、旧吉田茂邸内の各部屋で関連する写真とともに紹介する。

内 容／

- (1) 戦前…外交官として世界情勢を見つめる
- (2) 戦中…和平工作、ヨハンセン
- (3) 戦後…復興と独立回復まで

(担 当) 鷹野

ミニパネル展「吉田茂とマッカーサー」

期 間／令和 7 年 5 月 2 日（金）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

開場日数／275 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／23,871 人

趣 旨／ダグラス・マッカーサーは連合軍総司令官として、占領下の日本の民主化などを進めた人物である。吉田茂は戦後、外務大臣として、また、内閣総理大臣として、マッカーサーをはじめとしたGHQとの折衝を担った。本展示では、マッカーサーの経歴を紹介するとともに、GHQの日本占領の方針、そしてそこで生じた吉田とのやりとりを中心に紹介する。

内 容／

- (1) マッカーサー経歴
- (2) 日本の敗戦／GHQとの折衝
- (3) 最高司令官の解任／晩年

(担 当) 鷹野

■ 講演会

企画展「吉田茂と振り返る終戦 80 年」関連講演会

日 時／令和 7 年 9 月 7 日（日）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／朝日新聞 藤田 直央 氏

参加者数／40 人

内 容／現在の日本の姿から終戦・独立・復興を振り返り、それらに関わる吉田茂の功績についてお話いただいた。

（担 当）鷹野



NPO 法人大磯ガイド協会・大磯町郷土資料館共催企画記念講演会「吉田茂と大磯」

日 時／令和 7 年 9 月 23 日（火・祝）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／ノジマスクウェア

講 師／國學院大學文学部史学科准教授 柴田 紳一 氏

共 催／NPO 法人大磯ガイド協会

参加者数／176 人

内 容／日本の独立と復興に尽力し、今の日本の政治の基盤を築いた吉田茂と大磯についてお話いただいた。

（担 当）鷹野



■ 調度品等の整備

<調度品製作委託>

旧吉田茂邸調度品製作委託

業務内容／外交史料館が所蔵する伊藤博文掛軸の複製を製作する。

契約期間／令和 7 年 9 月 26 日 ～令和 8 年 3 月 25 日

請 負 者／（株）丹青社

■ 博物館資料の整備

<収蔵資料整備>

刀剣点検

業務内容／吉田家旧蔵資料のうち、刀剣「兼定」について点検を行った。

契約期間／令和 7 年 12 月 5 日

請 負 者／小野敬博

VHS テープデジタル化委託

業務内容／VHS テープ「七賢堂祭」のデジタル化

契約期間／令和 8 年 2 月 19 日～3 月 17 日

請 負 者／アスプレス（株）

■ 刊行物

<チラシ・パンフレット>

- ・旧吉田茂邸案内パンフレット
- ・企画展チラシ
- ・図録『吉田茂』増刷
- ・旧吉田茂邸案内パンフレット

A4 判両面三つ折 10,000 部（令和 7 年 4 月刊）

A4 判両面 5,000 部（令和 7 年 7 月刊）

A4 判 40 頁 500 部（令和 7 年 7 月刊）

A4 判両面三つ折 3,000 部（令和 7 年 10 月刊）

■ 視察・見学対応

＜視察・見学の月別件数＞ 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	0	0	1	1	1	1	2	1	0	2	0	0	9
見 学	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	5

＜見学対応＞ 館職員が対応した団体のみ記載

- ・相模原市立博物館ボランティア／6月18日／21人（鷹野）
- ・立憲民主党所属国会議員／8月21日／7人（北水）
- ・相模女子大社会マネジメント学科／9月5日／4人（北水）
- ・アメリカ・ラシン市長／9月13日／3人（北水）
- ・フレール館／10月28日／12人（北水）
- ・日米婦人会／11月12日／26人（北水・鷹野・長谷川）
- ・神奈川県土木整備局／11月14日／40人（北水・鷹野）
- ・耕余塾を知る会／12月4日／8人（鷹野）
- ・大磯町立学校新採用職員／12月23日／8人（北水）
- ・山北町文化財保護委員会／1月8日／9人（鷹野）
- ・神奈川県職員／1月21日／2人（北水）
- ・大磯町教職員／2月25日／1人（北水）

■ 取材対応

＜刊行物＞

- ・こどもタウンニュース 令和7年7月夏号掲載「戦後の日本を築いた偉人 大磯に暮らした吉田茂」（富田）
- ・時事通信 令和7年8月8日対応「野田市所蔵鈴木貫太郎宛吉田茂書簡について」（鷹野）
- ・東京新聞 令和7年9月29日掲載「旧吉田茂邸 企画展示 吉田茂と振り返る 終戦80年」（鷹野）

■ レファレンス対応

- ・令和7年5月15日／吉田茂邸の新館を利用した海外の賓客について／大磯ガイド協会（鷹野）
- ・令和7年6月29日／吉田江子の読み方について／個人（鷹野・長谷川）
- ・令和7年9月9日／吉田茂が相続した財産について／個人（鷹野）
- ・令和8年2月15日／板倉卓三宛吉田茂書簡について／個人（鷹野）

学芸員の調査・研究・普及活動

＜通年の活動＞

- ・神奈川県博物館協会理事／年間（北水）
- ・東海地区博物館連絡協議会監事／年間（北水）
- ・たばこと塩の博物館主催「村井勉強会」メンバー／年間（富田・長谷川）
- ・耕余塾を知る会／年間（鷹野）

＜庁内事業への協力＞

- ・新採用職員研修／令和7年4月11日（富田）
- ・鳴立庵小学生用解説作成／令和7年4月（富田）
- ・「大磯めぐり」研修／令和7年5月14日（鷹野・長谷川）
- ・大磯町青少年指導員連絡協議会自主事業「ナイトハイク&ナイトミュージアム」／令和7年7月26日（北水・鷹野・村田）

- ・ 鳴立庵展示ケースの展示／令和 7 年 9 月 11 日、令和 8 年 1 月 28 日（富田）
- ・ 港湾管理事務所の展示／令和 8 年 1 月 28 日（真保・國見）

＜学校教育との連携＞

郷土資料館の見学・学習指導

講義名	人数	月日	場所	担当
こいそ幼稚園遠足	22	4 月 28 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
国府小学校 3 年生遠足	89	4 月 30 日	旧吉田茂邸 (庭園・邸内)	—
国府小学校 2 年生遠足	106	5 月 9 日	郷土資料館	—
こいそ幼稚園遠足	60	5 月 23 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
国府中学校	122	5 月 29 日	郷土資料館・旧吉田茂邸	—
国府小学校 3 年生	60	5 月 30 日	郷土資料館	—
こいそ幼稚園遠足	14	6 月 27 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
国府小学校 3～6 年生夏休み中の総合学習課題	—	7 月 19 日～ 8 月 31 日	郷土資料館	全員
平塚保育園遠足	28	10 月 3 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
大磯小学校	242	10 月 16 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
サンキッズ国府遠足	79	10 月 24 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
湘南桜ヶ丘幼稚園遠足	63	10 月 30 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
大磯中学校 2 年生 職場体験学習	—	11 月 7 日	郷土資料館	真保・ 村田
二宮めぐみ幼稚園遠足	39	11 月 25 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
こいそ幼稚園	36	1 月 16 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
大磯中学校	8	2 月 26 日	郷土資料館	—
たかとり幼稚園	72	2 月 27 日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
生沢分校	3	2 月 27 日	郷土資料館	—
こいそ幼稚園	22	3 月 6 日	県立大磯城山公園 (ひかりの広場)	—

学校等への講師派遣

講義名	人数	月日	場所	担当
国府小学校・中学校生沢分校総合学習	16	5 月 28 日	国府中学校生沢分校	村田
大磯小学校 3 年生「アオバト観察会 2025」	—	6 月 10 日・ 12 日	照ヶ崎海岸	村田
大磯小学校 3 年生総合「大磯の自然」の学習	—	7 月 4 日	大磯小学校	村田
大磯小学校「第 1 回 心のやさしさを育む人と人とのかわりを学ぶ 10 分講話」	全校生徒	10 月 22 日	大磯小学校	長谷川
神奈川大学法学部「自治体実務特修」	35	11 月 18 日	神奈川大学	北水

講義名	人数	月日	場所	担当
成城大学文芸学部「文化史概論Ⅱb」	—	11 月 18 日	成城大学	真保
大磯小学校 3 年生総合「大磯の自然」の学習 大磯小学校総合学習	—	11 月 20 ・ 21 日	大磯小学校	村田
成城大学文芸学部「人文地理学 b」	—	12 月 18 日	成城大学	真保
大磯小学校 3 年生総合「鷹取山の植生・生物」について	—	12 月 5 日	いくさわ西の池跡公園ほか	村田
大磯小学校 3 年生社会科「かわる道具と暮らし」	—	1 月 27 日	郷土資料館	真保・長谷川

<各種団体との連携・協力>

各種団体への講師派遣

名称	月日	場所	担当
明治記念大磯邸園 春のイベント「立憲政治の夜明け」	5 月 3 日	明治記念大磯邸園	長谷川
全麺協そば大学 in 平塚「湘南の歴史と文化」	5 月 24 日	平塚公民館	長谷川
OISO 学び塾「文化財ウォーク～照ヶ崎海岸～」	6 月 26 日	照ヶ崎海岸～大磯 コネクト～北浜海岸	村田
ガールスカウト神奈川県第 95 団 野鳥観察①	6 月 29 日	郷土資料館	北水
大磯海水浴場 140 周年記念講演会 「大磯海水浴場の歴史～医療からレジャーへ～」	7 月 13 日	町立福祉センター	富田
大磯コミュニティカレッジ懇話会 「人の空間認識—中心と周縁・ウチとソト—」	7 月 24 日	町立図書館	真保
ガールスカウト神奈川県第 95 団 野鳥観察②	8 月 17 日	郷土資料館	北水
県立大磯城山公園 「あつまれ！アメリカザリガニ一斉捕獲大作戦」	8 月 20 日	県立大磯城山公園 (不動池)	村田
大磯コミュニティカレッジ懇話会 「交通から考える空間認識」	8 月 28 日	町立図書館	真保
大磯コミュニティカレッジ懇話会 「大磯の邸園文化」	10 月 30 日	町立図書館	長谷川
大磯文化芸術祭 「大磯の下町を歩く—祭礼と海水浴場をめぐって—」	11 月 23 日	東光院ほか	真保
大磯町教育研究所主催 「テーマ別研修（大磯の自然）」	12 月 23 日	郷土資料館	北水・村田
「世間話研究会」研究発表および進行	12 月 27 日	郷土資料館	真保
「相模民俗学会」研究発表	1 月 25 日	郷土資料館	真保
成城大学民俗学研究所研究プロジェクト	2 月 11 日・ 12 日	仙台市歴史民俗資料館ほか	真保
二宮町町民大学講座「隣の町を歩いてみよう」	2 月 14 日	大磯町内	長谷川
明治記念大磯邸園 3 月のイベント 「大隈重信生誕の日記念講話」	3 月 8 日	明治記念大磯邸園	長谷川
令和 7 年度 OISO 学び塾 「文化財ウォーク～高麗山～」	3 月 18 日	高麗山	村田

<学会・研究会との連携>

研修会・会議出席等

名称	月日	場所	担当
令和 7 年度神奈川県博物館協会第 1 回研修会	5 月 21 日	県立生命の星・地球博物館	北水・真保
令和 7 年度全国博物館長会議	7 月 2 日	文部科学省	北水

名称	月日	場所	担当
川崎市市民ミュージアム研修会 「水損紙資料の応急処置」	9月19日	川崎市市民ミュージアム	鷹野
令和7年度東海地区博物館連絡協議会	8月1日	横浜美術館	北水
歴史民俗資料館等専門職員研修会	11月10日 ～14日	国立歴史民俗博物館	真保
令和7年度神奈川県博物館協会第2回役員会	11月12日	オンライン会議	北水
無形民俗文化財研究協議会	12月5日	東京文化財研究所	真保
令和7年度神奈川県博物館協会第5回研修会	2月27日	横浜市歴史博物館	真保
(公財)文化財虫菌害研究所 「第47回文化財の虫菌害防除作業に関する講習会」	3月3日・ 4日	家の光会館コンベンションホール	鷹野
令和7年度神奈川県博物館協会第3回役員会	3月5日	横浜開港資料館	北水

<執筆>

富田 三紗子

2025. 9. 「【資料紹介】東海道大磯宿小嶋本陣の『記憶簿』」
『大磯町郷土資料館年報』第37号 大磯町郷土資料館（共著）
2025. 11. 「日本でアーキビストを目指すということ」
アーカイブズ学会編『アーキビスト 未来への履歴書』 岩田書院
2026. 2. 『山本丘人と大磯』 大磯町郷土資料館
2026. 3. 資料館資料24『大磯町助役日誌（大正一〇年一月～一二月）』 大磯町郷土資料館
2026. 3. 「収蔵資料紹介 東海道大磯宿小嶋本陣資料」『交通史研究』第108号 交通史学会
2026. 3. 「宿を支えた助郷」『藤沢宿百科』藤沢市史ブックレット14 藤沢市文書館

鷹野 真子

2025. 11. 『くらしとムシ』 大磯町郷土資料館
2026. 2. 「(寄稿)吉田茂と振り返る終戦80年」『照ヶ崎』第64号 NPO法人大磯ガイド協会

真保 元

2025. 6. 「西小磯の七夕の現在―世相を視座に―」『民俗学論叢』第40号 相模民俗学会
2025. 7. 「展示報告：企画展『川端誠さん絵本原画と民具の世界』」
『Report―大磯町郷土資料館だより』45 大磯町郷土資料館
2025. 9. 「大磯の左義長をめぐる基礎的研究―2024年度の大北地区の動向を中心に―」
『大磯町郷土資料館年報』第37号 大磯町郷土資料館
2025. 9. 「ゴキブリ雑記―駆除の語りをめぐって―」『現在学研究』第16号 現在学研究会
2025. 11. 『くらしとムシ』 大磯町郷土資料館
2025. 11. 「書誌紹介 「八木透先生古稀記念論集刊行会編著『いまを生きる民俗学
―民俗学・文化財・博物館』
『日本民俗学』第324号
2026. 3. 「サードプレイスの変容―場所の動態性を視座に―」
『常民文化』第49号 成城大学常民文化研究会
2026. 3. 「今日における博物館紀要等刊行物の流通に対する一考察
:大磯町郷土資料館を事例として」
『神奈川県博物館協会々報』第97号 神奈川県博物館協会

長谷川 明香

2025. 7. 「ワークショップ『甲冑を着てみよう！
～日本の甲冑のお話と模擬甲冑の試着～』の報告」
『Report―大磯町郷土資料館だより』45 大磯町郷土資料館
2025. 9. 「大隈重信の大磯別荘に関する一考察」
『大磯町郷土資料館年報』第37号 大磯町郷土資料館

村田 聡美

2025. 7. 「照ヶ崎海岸の砂の増減について」

『Report－大磯町郷土資料館だより』45 大磯町郷土資料館

2025. 11. 『くらしとムシ』 大磯町郷土資料館

大磯町郷土資料館年報

令和 7 年度

- ◇ 大磯町郷土資料館年報 第 38 号
- ◇ 令和 8 年（2026）6 月 24 日発行
- ◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660